

2004年度事業報告書

自 2004年4月1日 至 2005年3月31日

特定非営利活動法人 地域生活サポートセンターじゅぷ

I 全体の概要

障害のある人々が地域であたりまえに生活していける社会の実現を図るため、障害のある人の自立・生活支援や、誰もが暮らしやすい街づくりに関する提言などを行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし活動した。

滋賀県の指定を受け実施している居宅介護事業を中心に、私的居宅支援事業「ちゅぷ」、外出支援事業「まちかどサポートステーション」を実施することにより、365日、24時間の支援体制を実施してきた。併せて、支援者を養成するため、滋賀県の指定を受け居宅介護従業者養成研修事業を実施した。

外出支援事業「まちかどサポートステーション」については今年度までは継続して実施したが、2004年3月末をもって事業を終了した。

自立生活トレーニング事業「コパン」については、検討を重ねてきたが今年度は実施には至らなかった。

通信の発行、研修会への参加や広告の掲載を通じて広報啓発事業を実施した。

従業員の資質向上のために、各種研修などに参加した。

常勤従業員の増員があり、それに伴い事務所が手狭になったため、1月17日より大津市一里山2丁目2番8号へと移転した。テナントビルの1階を賃借している。入り口ドア、トイレについては多くの人が使いやすいよう改装した。

II 事業の記録ならびに成果

1. 居宅支援事業

事業内容 滋賀県指定居宅介護事業所「地域生活サポートセンターじゅぷ」の運営

実施日時 通年

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又はサービス提供先

対象者 大津・湖南地域および県内在住の、障害がある人で自治体より居宅支援費を受給している人

県内の市・町より居宅支援費を受給している個人と契約を結び、希望される居宅介護(身体介護・家事援助・移動介護・日常生活支援)を実施した。常勤・非常勤あわせて約50～60名の従業員により、365日・24時間の支援を実施することができた。

特にALSの方へのヘルパーによる吸引について、県内での事例がなく当初は困難かと思われたが、ご本人さんや関係機関との協力により実施できたことは大きな成果であった。

2004年10月より滋賀県では「選べる福祉サービス滋賀特区」が開始された。これは施設利用時の支援費が通常の1ヶ月単位でなく日割りでも支給され、日によって違うサービスが利用できる制

度である。これにより、以前から課題であった入所施設で生活されている方の帰省時の問題が一部解決した。これまでやむを得ずちゅうぷにより実費負担をいただいていた方がおられたが、年末年始の帰省時には新しい制度を利用していただいた。

利用状況は、波はあるが全体としては若干の上昇傾向にある。特に深夜の利用が増えており、従業員の確保の難しい時間であるが、2004年度は何とか継続できた。また、それ以外の時間帯についても、利用の希望に対してはできる限り応えられるよう努めたが、やむを得ず断ったことや、こちらの都合に合わせてもらうようお願いしたこともある。そのような状況を完全に無くすことは不可能であるが、できる限り少なくするよう努めねばならず、安定的なサービス提供には課題が残った。(表:利用者数、提供時間数、時間帯別利用回数)

年度途中より女性従業員1名を非常勤から常勤へと登用した。これによりかねてより課題であった女性の常勤ヘルパーの確保について解決した。非常勤従業員は常時募集し随時採用した。(表:派遣従業員数)

また、他の法人や個人からの居宅介護事業所の開設の相談に対しては、地域全体としてのサービス提供量が増加することは望ましいので、できる限り応じるように努めた。

従業員数(実働)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
非常勤ヘルパー	47	47	50	57	57	51	48	52	52	49	56	51
事務員(常勤)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

・10月より採用の常勤ヘルパー1名は、非常勤ヘルパーからの登用。

利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体障害者												
大津市	16	15	16	17	16	17	16	17	18	17	19	17
草津市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栗東市		1				1			1	1		
守山市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
野洲市(野洲町)※1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
野洲市(中主町)※1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東近江市(五個荘町)※2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	24	24	24	25	25	25	24	25	27	26	27	25
知的障害者												
大津市	10	12	10	11	12	12	14	10	14	12	16	16
草津市	3	4	4	4	5	4	4	4	3	3	4	4
甲賀市(信楽町)※3			1		1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13	16	15	15	18	17	19	15	18	16	21	21
児童												
大津市	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	3
草津市						1	2	1	1	1		2
栗東市				1	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	2	2	2	3	3	4	6	5	4	4	3	6
合計	39	42	41	43	46	46	49	45	49	46	51	52

※1 野洲町と中主町は10月より合併し野洲市に

※2 五個荘町は3月より他1市3町と合併し東近江市に

※3 信楽町は10月より他4町と合併し甲賀市に

介護種別利用時間数(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害者													
身体介護	124.5	128.5	110	105	97	92.5	56	57.5	54	61.5	59.5	49.5	995.5
家事援助	29.5	32	43.5	46.5	40	44.5	56	54	43.5	45	48.5	33.5	516.5
移動介護	137.5	197	126.5	170.5	236.5	144	130	120	176	134	154.5	135.5	1862
日常生活支援	541.5	809.5	797	779	831.5	796.5	797.5	821.5	946	888	824.5	1000	9832.5
小計	833	1167	1077	1101	1205	1077.5	1039.5	1053	1219.5	1128.5	1087	1218.5	13206.5
知的障害者													
身体介護	14	12.5	6	6	13	6	11.5	2.5	6	6	6	6	95.5
移動介護	99	168.5	135	219	352.5	187	227.5	393.5	199	213	192	288.5	2674.5
小計	113	181	141	225	365.5	193	239	396	205	219	198	294.5	2770
児童													
身体介護	9	6.5	11.5	10	5.5	7.5	13.5	15.5	6.5	8.5	12	11	117
移動介護	5	1	4	26.5	20	9	15	5.5	20.5	8		20	134.5
小計	14	7.5	15.5	36.5	25.5	16.5	28.5	21	27	16.5	12	31	251.5
合計	960	1355.5	1233.5	1362.5	1596	1287	1307	1470	1451.5	1364	1297	1544	16228

時間帯別利用回数(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害者													
日中	191	214	195	203	203	198	188	179	207	196	205	192	2371
早朝/夜間	172	198	179	197	175	177	160	164	181	185	164	189	2141
深夜	66	94	99	97	107	110	103	109	121	121	109	136	1272
回数	364	414	379	403	370	371	346	342	388	384	361	398	4520
知的障害者													
日中	30	44	38	45	55	37	56	60	46	49	52	54	566
早朝/夜間	11	9	4	15	13	16	17	29	13	15	12	19	173
深夜		1					1				1		3
回数	30	47	38	45	64	47	63	68	54	56	59	66	637
児童													
日中	20	14	25	26	18	18	33	29	15	22	24	26	270
早朝/夜間							1	2				1	4
回数	20	14	25	26	18	18	34	31	15	22	24	27	274
合計	414	475	442	474	452	436	443	441	457	462	444	491	5431

- ・日中 8:00-18:00
- ・早朝/夜間 6:00-8:00/18:00-22:00
- ・深夜 22:00-6:00
- ・日中から夜間などまたがる場合、日中・夜間共にカウントしているが、回数にはカウントしていない。
そのため、日中+夜間+深夜=回数とはならない場合がある。
- ・合計は回数の合計である

※各文中、表中の「身体障害者」とは「身体障害者福祉法による居宅受給者」をあらわす。知的障害者、児童についても同様に「知的障害者福祉法による居宅受給者」「児童福祉法による居宅受給者」をあらわす。

2. 私的居宅支援事業(ちゅぷ)

事業内容 私的居宅支援事業「ちゅぷ」の実施

実施日時 通年

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又はサービス提供先

対象者 大津・湖南地域および県内在住の障害のある人

当事業は以下の3点を主な目的として実施している。

- ①制度の狭間などにあり居宅介護を利用できない人のニーズに応えるため
- ②資格を持たない人も関わることができるため
- ③成果を上げることでその必要性を行政に訴える材料とできること

利用状況

- ・身体障害者更生施設で生活されている方に対し、帰省時の身体介護をおこなった。この時は夏の帰省であったが、年末年始の帰省時には滋賀特区により支援費で居宅介護を利用された。
- ・本人の希望により手帳を取得したくない方がおられ、その方に対する見守り介護をおこなった。
- ・精神的な障害のある方が、市に対し居宅介護の利用を申請しておられたが、決定に時間がかかっていたため、その間の利用があった。

私的居宅支援事業(ちゅぷ)利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	1	1	1	1	2	1	1	1	4	1	1	0	15
利用件数(件)	6	2	1	4	8	3	4	5	8	1	1	0	43

3. 外出支援事業(まちかどサポートステーション)

- 事業内容 移動に困難を抱える障害のある人や高齢者の移送サービス
- 実施日時 通年
- 実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人や高齢者宅又はその外出先
- 対象者 移動に困難を抱える障害のある人や高齢者

支援費制度の開始以降、当事業の利用は減少傾向にあったが、今年度はその傾向が一層強まった。また、いわゆる「移送サービス」が、国によりこれまでのように有償のボランティアグループとして継続していくことができなくなるという方針が提示された。継続するには従業者は2種免許を取得し、事業所としてはタクシー事業者として認可を受けるなどの必要があり、当法人にとってその要件は厳しいものである。そのような事情も相まって、年度途中の運営委員会において、2005年3月末をもって事業を終了することを決定した。

外出支援事業(まちかどサポートステーション)利用状況(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	24	25	31	26	26	21	21	10	17	11	4	9	225

4. 自立生活トレーニング事業

- 事業内容 「自立生活トレーニングハウスコパン」の運営
- 実施日時 実施できず
- 実施場所 実施できず
- 対象者 実施できず

2003年度末に移転先が決まらぬまま一時的に休止することとなった。2004年度は運営方針と移転先の検討を重ね、実施に移る予定であったが、実施には至らなかった。検討を重ねた結果、グループホームへの移行のためのトレーニングは別の団体が実施する事業の中で可能であると判断し、当法人としては、より“1人暮らし”に特化した事業を展開すべきではないかと考えている。

5. 研修開催事業

事業内容 県の指定を受けて居宅介護従業者養成研修事業を開催

実施日時 年3回(別記)

実施場所 主に瀬田北市民センターと大津・湖南周辺の地域

対象者 障害のある人の支援に関わる人および関わろうとする人

実施研修内容	実施期間	会場	定員	希望	受講	修了
日常生活支援従業者養成研修〔第1期〕	6/5～27 (うち3日)	瀬田北市民センター	30人	57人	30人	29人
知的障害者移動介護従業者養成研修	7/17～8/7 (うち3日)	瀬田北市民センター ・夢創舎	30人	14人	14人	13人
日常生活支援従業者養成研修〔第2期〕	11/6～21 (うち3日)	瀬田北市民センター ・がんばんカンパニー	30人	44人	30人	30人

2003年度は県外や、県内でも遠方からの受講生が多かった。近隣での研修の実施が少ないためと思われる。もちろんそのニーズに応えることも必要ではあるが、2004年度は当法人で従事できる者を養成することを重点に実施した。

「日常生活支援従業者養成研修」については多くの登録ヘルパーを養成することができた。特に〔第1期〕においては、龍谷大学内で広報をさせていただき機会を得た効果もあり、20名の学生(新規)から応募をいただき選考の結果13名に受講していただいた。

「知的障害者移動介護従業者養成研修」については、「日常生活支援従業者養成研修」を受講された学生に受講していただくことを目論んだが、大学の前期試験の時期と重なってしまったこともあり、龍谷大学生(新規)の受講はわずか3名にとどまった。

現状としては知的障害者移動介護従業者が不足している状況であるので、2005年度は特に「知的障害者移動介護従業者養成研修」について、学生の勧誘に努め登録ヘルパーの増員を図りたい。2004年度の経験を生かし春に「知的障害者移動介護従業者養成研修」を実施したい。

6. 広報・啓発事業

事業内容 通信「ぬぷぼん」の発行などを通じての広報・啓発活動

実施日時 通年(別記)

実施場所 事務所・各開催地など

対象者 不特定

実施内容	実施日時
全国障害者市民作業所研修集会 分科会での話題提供ならびに協賛広告掲載	5月29～30日
通信「ぬぷぼん」の発行	8月
トーチラン 協賛広告掲載	11月21日
通信「ぬぷぼん」の発行	1月
第8回アメニティーフォーラムinしが ポスターセッションブース出展	2月11～13日
障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動 抗議活動・デモ参加	2月15～16日
大津市障害福祉課との話し合い(共働作業所とランドデザインについて)	2月2日
大津市障害福祉課との話し合い(ランドデザインについて)	2月22日

7. 各種研修への参加

事業内容 従業員の資質向上のため、各種研修へ参加、又は実施する。

実施日時 通年(別記)

実施場所 事務所・各開催地など

対象者 従業員

・研修参加、見学など

実施内容(開催地)	参加者	実施日時
気管内および口腔内吸引研修・実習(守山)	熊澤・他4名	4月～随時
まちかどプロジェクト「自ずから立つ学習会」(草津) 情報提供	染井	4月29日
全国障害者市民作業所研修集会(草津) 分科会での話題提供	松見・染井	5月29～30日
身体障害者福祉ホーム「あいえる」の見学(大阪)	染井・松見・阿部・他1名	7月3日
まちかどプロジェクト「自ずから立つ学習会」(草津)	染井	7月19日
難病医療従事者研修会(大津)	染井・熊澤	7月29日
共同連全国大会(熊本)	松見・熊澤・他2名	8月21～22日
難病在宅療養計画策定評価委員会(守山)	染井・熊澤・他1名	9月14日
ながの地域就労支援センター森と木の見学(長野)	松見	9月23～24日
勉強会「支援費と介護保険をめぐって」(草津)	染井	9月30日
税務説明会(大津)	谷井・染井	10月19日
難病事業従事者研修会(守山)	染井・熊澤・他2名	10月24日
ピープルファースト大会 in 徳島	松見・熊澤	11月6～7日
訪問介護員研修1級課程	松見	11月18日 ～3月31日
よかとも勉強会(大津)	染井・阿部・熊澤・他数名	12月19日
福祉フォーラム5 in 鳥取	熊澤	1月15～16日

ぼてとファーム学習会(長浜)	阿部	1月30日
支援費と介護保険の統合を考える学習会(草津)	染井・松見・熊澤・他1名	2月6日
第8回アメニティーフォーラム in しが(大津)	染井・松見・阿部・熊澤・ 他7名	2月11～13日
グループホーム見学(大阪)	熊澤	2月20日
生活援助ネットワーク10周年記念集会(名古屋)	染井	3月12～13日

・主催した研修

内容	対象者	担当	実施時期
スキルアップ研修「料理講座＋支援費の基本講座」	登録ヘルパー10名	阿部・熊澤	12月4日

ヘルパーのスキルアップを目指すとともにヘルパーどうしの横のつながりを持っていただくことをテーマに企画した。このような研修を開催するのは初めてであり、暗中模索であったが無事に終えた。内容は特に若いヘルパーにとっては苦手な分野であろう調理実習をメインにした。栄養士を講師に迎え、和食を中心としたメニューとした。食事後、第2部としてあらためて支援費制度の仕組みを介護保険と比較する様式で解説した。同日の夜には交流会として忘年会も行っており、こちらには利用者・ヘルパーなど関係者52名の参加があった。

事業支出額(全事業計) 44,097,294円